

研究課題：「滑膜幹細胞を用いた関節軟骨再生」「再生医療の基盤となる自然治癒しない動物腱変性モデル作製技術の確立」「アキレス腱断裂縫合術における PRP 療法の有用性と安全性の検討」

研究代表者：医学部整形外科学講座 河野 博隆主任教授

研究紹介：整形外科学講座では、FRU を利用している大学院生を中心として、複数の基礎・臨床研究を行なっています。現在行なっている主な研究は「滑膜幹細胞を用いた関節軟骨再生」「再生医療の基盤となる自然治癒しない動物腱変性モデル作製技術の確立」「アキレス腱断裂縫合術における PRP 療法の有用性と安全性の検討」です。

「滑膜幹細胞を用いた関節軟骨再生」は、関節内にある滑膜由来の幹細胞を用いて、関節軟骨損傷の治療法を開発する研究です。平成 28 年度科学研究費助成事業（科研費）の「基盤研究 C」を獲得し、研究を行なっています。

「再生医療の基盤となる自然治癒しない動物腱変性モデル作製技術の確立」は、アスリートに多く発症する腱症（継続的にかかる負荷によって腱が変性した状態）の治療法を開発するため、現時点で方法が確立されていない腱変性モデルの作製法を開発する研究です。平成 30 年度科学研究費助成事業（科研費）の「若手研究」を獲得し、本年度から研究を行なっています。

「アキレス腱断裂縫合術における PRP 療法の有用性と安全性の検討」は、アキレス腱断裂に対する縫合術の治療成績を向上させるため、自己多血小板血漿（Platelet Rich Plasma : PRP）を用いたオリジナルの治療法を開発する研究です。倫理委員会の承認を受け、本年度から臨床研究を開始しました。

今後も積極的に基礎・臨床研究を行ない、医学の発展、ひいては患者さんの健康に貢献できるよう努力を重ねていきます。

【関連リンク】

帝京大学医学部 整形外科顎講座 HP <http://www.teikyo-orthop.com/>